

## 例会作品の音声について

有村 博

会員の皆さんの殆どがご存じの事と思いますが、混乱があってははいけませんのでおさらいをしておきます。現在あまり普遍的ではないベーターと新しいデジタルの音声については後日にして、VHSと8ミリ系のアフレコ（後からの音楽やナレーションの録音）を中心に述べてみます。

VHS（S-VHSを含む）は①HiFi（ハイファイ）音声帯と②ノーマルトラックとの2つを持っています。①は映像の奥（深層）に映像とともに記録しますのでカメラで撮影した時の音です。後から音だけを録音が出来ないのです。そこで②に音楽や解説を後から録音する事になります。この2つの音を同時に再生したい時にはMix（ミックス）再生してやらないと両方の音が出ません。今、OMCを始め大半のクラブでの例会では②のノーマルトラック再生でお願いしているのが現状です。

そこで例会作品はご自分の家で両方の音を出して再生した作品を一度ダビングして持参して頂くか、そのテープを再度再生側にして本作品の方に頭出しを同時にアフレコしてやれば、例会持参作品のノーマルトラックに希望の音が入って混乱がなくなるのです。

次に8ミリ（Hi-8を含む）は①AFM音声帯と②PCM音声帯があり、①はVHSの①と同じく後からの録音が出来ません。②はデジタル音声で音楽や解説が後から録音出来るのですが、機械（カメラ、デッキ）によっては、これの録音、再生が出来ない機種があるのです。ですから8ミリ作品の場合には、例会には必ずPCM音声の再生の出来るカメラかデッキをご自分で携行して頂くようにお願いしています。



## 3月例会のお知らせ

3月例会は28日(第4土曜日)午後6時より、阿倍野市民学習センター(あべのベルタ3階)で開催します。新しく入会された方々の作品を特に大歓迎します。お互いに作品を見せ合って楽しくやりましょう。

## 2月例会のレポート

今月は見学に来られた3名の方を含めて総勢24名の賑やかな、そして和気藹々とした中での例会でした。いつもの会議室がとれなくて和室での開催になりましたが映写設備の配置やら、机の移動など始まる前のひと騒動がありました。司会は合原さん、書記有村さん、デッキ係は関さんをお願いして会を進行しました。

◆出席者：合原、有村、前田、関、上総、奥、森、今井、江村、松本、増池、渡辺、藤原、安居、夫人、花岡、田邑、金子、森下、中尾、岡本の皆さん(敬称略)と見学の3名の方の合計24名

### ◆上映作品

- 1) ハワイの印象 パート3 奥 宏さん 7分20秒  
社員旅行で撮られた膨大なテープの中から作者が印象に残ったカットを取り出して作品にされました。しかし広角の遠景が多いので迫力のある印象として観客に伝わってこないのです。船中のショーでの音楽をバックに使っておられますが、意外にスローテンポで眠気をもよおすようで損です。我々日本人のハワイの印象はやはり月並みですが「アロハオエ」や「ブルーハワイ」等を使った方が良いのでは、と思いました。
- 2) 冬 丹後半島 田邑 芳潤さん 4分10秒  
朝日の昇る静かな海から一転して荒波の逆巻く日本海へと快調なテンポで表現されます。列車の轟進はこの作品では必要ないと思います。後半は伊根の舟屋など静かな漁港風景で夕陽につながって終わります。アップ(望遠)とロング(遠景)だけでミディアム(中景)がないので今一つスムーズなつながりが見られないとの指摘もありました。カメラをがっちり構えて迷いのない映像を撮って編集されると見事な作品が出来上がるでしょう。
- 3) 門前町坂本を訪ねて 藤原 純三さん 10分00秒  
大津市坂本の町に他のクラブの撮影会を含めて3回行かれて、綿密な調査の上でこの作品を作られました。その結果、自作自演の見事な作品になりました。この種の作品はよくテレビの紀行物と比べられて損ですが、あくまで独



自の作風を堅持されて決してマネに終らないようにこれからもよろしく願  
いします。

- 4) 航空ショー 渡辺 雄史さん 6分10秒  
「熊蜂の飛行」と次の飛行機の地上展示の所の音楽があまりに違和感があり  
過ぎるのでここも現場音を残して徐々に次の音楽に移行するようにされたら  
良いと思いました。エンドマークの前でワイプを使って1カット再び地上展  
示が出ますが、これは必要ありません。前に組み込んだらいいと思います。  
例会やコンテストに出す場合の音の再生を研究されて、折角のテロップの字  
もお間違いのないようお願いします。
- 5) 97 聖夜のエキスポ 今井 羨美さん 6分40秒  
エキスポランドでのクリスマスの夜のイベントを記録されました。後半は現  
場音を生かして適度に画を入れ替えスムーズなテンポで良かったのですが、  
最初の方のBGMは後でお聞きしますと、外部マイクのスイッチの入れ忘れ  
とかで止むなくの処置だったそうです。それにしても「ホワイトクリスマス」  
はもう少し聞いていたかったように思いました。
- 6) 春節祭 金子 博泰さん 7分50秒  
旧正月に神戸の中華街で行われた祭を記録されました。陽の照った所が露出  
オーバーになったカットが幾つかありましたが失敗した所は使わない方がい  
いし、蛇の踊りの始め頃にネガ・ポジ反転のイメージカットが出ました。過  
去の出来事や夢のシーンなどに使用すればそれなりに効果があるかも知れま  
せんが、単なるお遊びでしたら使わない方が良いでしょう。最後も神  
戸の夕景などで終れば尻切れトンボにはならないと思います。
- 7) Making of なつメロ 安居 利次さん 8分00秒  
普通の人なら奥さんの趣味の「なつメロ愛唱クラブ」の10周年記念大会の記  
録を見せて終る所を、作者と奥さんの兄の二人で150人も参加者の8時  
間に及ぶイベントを「どうして撮ったかというメイキング」で、その大奮闘  
振りを見せてくれるのですからただ者ではありません。しかも殆どの器材が  
民生用で無料奉仕だとか、これこそアマチュア映像の神髄と云えるでしょう。  
ご苦労さまでした。ほんとに楽しい作品でした。でもこれが毎回やったらブ  
ロの商売、あがったりやなあー！。
- 8) フェスティバルゲート 安居 良枝さん 7分00秒  
通天閣の近くの旧市電の車庫跡に新しくオープンした遊園地にご夫婦で行か  
れて作品を作られました。要所要所でナレーションが入り作者の思いが語ら  
れ、的確な画とともに判りやすく面白く出来上がっています。出来れば何処  
か高い所からこの遊園地の全景でも撮れたら、それをラストシーンにしたら  
もっと余韻が残せたのに・・・と思いました。
- 9) スキヤねんオオサカのまち 有村 博さん 6分10秒  
「何でこんな映像撮ったんやって聞かれたら、それがタイトルや」と作者の



言葉。夜の大阪の各地の光景の羅列です。大阪城だけが写実的であれば無い方がよい、全体に総花的でもっとつつこんで、これが大阪やというのが見たいといったご意見を頂戴しました。

初め「わが町大阪」だったんですが、それはないと云われて今のタイトルにしたのです。所詮、撮った後からどんな作品にしようかと考えたんですからこの程度のもんでしょう。

- 10) 晩秋 江村 一郎さん 6分10秒  
昨年の平野ビデオコンテストの秀作賞の作品だそうです。題材は杭全神社の晩秋、いつもの作者の独特のカメラワークと違って、三脚を据え比較的長いカットで落ち着いた画面、スローテンポのBGMで見せて行きます。一転音楽が早くなると画面は長い秒数のカットで参詣者の仕草を見つめ続けます。一見アンバランスのような事が前後のスローテンポのカットと奇妙にバランスを保って作者独自の感性を見せてくれます。お見事な作品と思いました。

- 11) 大阪城梅林 森 保信さん 7分15秒  
業務用まがいのソニー大型カメラV X 9000を担いで大活躍の作者、天気もよし「梅見の宴」のお琴の演奏会へとやってきました。腕章がなくても「大きなカメラの方どうぞ、どうぞ」てな事で気分も上々、これも趣味としての最高の醍醐味でしょう。出来上がった作品もさすがベテランらしくソツがなく結構でした。

以上で会員さんの作品上映を終り、2次会は喫茶店と居酒屋に別れて楽しみました。

(今月の講評担当：有村 博)

## 撮影会のご案内

OMCでは毎年春に撮影会を行っています。同じ場所で同じテーマを対象に作品制作をしても、作者の個性が出てそれぞれ違った作品に仕上がってきます。また同じ旅館に寝泊まりして酒を酌み交わし、ビデオ談義に花を咲かせて親睦の輪も広がります。是非多くの方々に参加していただきたく思います。

撮影会作品は、後日の例会で公開審査を行い、最優秀作品は秋の公開映写会で上映されます。詳しくは後日お知らせします。どうぞ手帳などの予定表に書き留めておいてください。

撮影会日時：5 / 30 (土) ~ 31 (日)  
場 所：高野山